

## 2015 年度 第 1 四半期 決算 FAQ

Q 1 : 年間予想に対する第 1 四半期の売上進捗について教えてください。

A 1 : 建設機械・車両セグメントにおいては、中国・オセアニア等で想定を下回る需要・売上高となりましたが、為替が前提レートより円安に振れたことから、全体では概ね想定どおりのスタートとなりました。産業機械他セグメントにおいても、概ね想定通り進捗しております。

Q 2 : 鉱山機械の新車需要の状況・見通しは？

A 2 : 主要鉱物価格が引続き下落・低迷する中、全体的に新規設備投資を抑制する動きに変化はなく、この状況は 2016 年度にかけても続くと考えております。但しそうした中でも個別には新規案件の引き合い・商談は出ております。

Q 3 : 中国建設機械市場の足元の状況・見通しは？

A 3 : 今年度の見通しを作成した時点では、主要 7 建機の需要は対前年で▲20%～▲25%程度減少すると見ましたが、第 1 四半期の需要の実績は想定を下回って▲50%減となりました。これは、今年は例年のような春節後の需要の盛り上がりが見られなかったことが影響しており、第 2 四半期以降は需要の落ち幅は小さくなっていくものと思われます。市場の回復の兆しはまだ見えませんが、政府による景気刺激策が今後強化される可能性もありますので、注意深く状況を見ていきたいと思っております。